

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月23日

上場会社名 新光製糖株式会社  
 コード番号 2113 URL <http://www.shinko-sugar.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 洋一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務担当兼企画室長 (氏名) 砂岡 睦夫  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 JQ

TEL 06-6939-1201

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	9,272	—	578	—	672	—	399	—
20年3月期第3四半期	9,320	1.0	695	54.4	771	48.1	463	10.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	34.80	—
20年3月期第3四半期	40.30	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	12,403	—	11,209	88.5	—	—	955.97	—
20年3月期	12,488	—	10,935	85.7	—	—	930.57	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 10,981百万円 20年3月期 10,702百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	10.00	10.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,250	0.3	660	△23.6	750	△28.9	490	△25.7	42.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

[(注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 11,522,000株 20年3月期 11,522,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 34,482株 20年3月期 20,619株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 11,494,525株 20年3月期第3四半期 11,504,919株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(2) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## 定性的情報・財務諸表等

※定性的情報における「前年同期比増減率」につきましては、参考として記載しております。

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機が実体経済に波及し、世界同時不況の様相が強まる中、企業収益や民間設備投資が急減するなど景気の悪化が鮮明となりました。精製糖業界におきましても、消費マインドの減退による影響が出始めています。

当第3四半期連結累計期間の海外粗糖市況は、ニューヨーク砂糖取引所現物相場1ポンド当たり、期初13.30セントで始まり、7月に入り主要生産国であるブラジルの減産予想などを背景に値を上げ、8月には一時16セントを上抜きましたが、その後世界的金融危機にともなう商品市場からの投資資金の流出が徐々に影響しはじめ、12.75セントで当第3四半期連結累計期間を終えました。国内砂糖市況は、期初155円(大阪上白糖現物相場1キログラム当たり)で始まり、海外粗糖相場が上昇に転じたことや、エネルギーコストを中心とする製造コストの上昇もあり、4月末には161円に、11月初めには167円に上昇したあと、同レベルを維持して当第3四半期連結累計期間を終了いたしました。

当社の主な部門別の概要は、次の通りであります。

精製糖・液糖部門は、消費の低迷が影響し、販売数量は前年同期を下回り、売上高は8,372百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

氷砂糖部門では、販売数量は前年同期を上回り、売上高は原材料費等の上昇を背景に製品価格の上方修正を行ったこともあり、703百万円(前年同期比8.2%増)となりました。尚、主要用途であります梅酒・梅シロップ用青梅の生産は、群馬県を中心とした関東地区が増産となりましたが、主産地の和歌山県が昨年比減産となりました。

精製糖、液糖及び氷砂糖を除くその他売上高は196百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の当企業集団の売上高は9,272百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

利益面では、適切な価格で原料糖を確保できたものの、原油価格の高騰に伴う燃料費を中心とする製造コスト上昇の影響及び法人税法改正に基づく機械装置の耐用年数変更により、営業利益は前年同期比16.8%減少し578百万円となりました。経常利益は、国産甘しゅ(さとうきび)糖メーカーである持分法適用関連会社の持分加算が寄与し、前年同期比12.9%減の672百万円となり、純利益は前年同期比13.7%減の399百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて85百万円減少し、124億3百万円となりました。これは主に有形固定資産の減価償却による減少によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べて3億59百万円減少し、11億93百万円となりました。これは主に未払金の減少によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期通期の連結業績につきましては、第2四半期累計期間の上方修正分が寄与するものの、国内景気の悪化に伴う消費マインドの減退による影響が見込まれること及び持分法適用関連会社の業績は、平成20年12月より開始の甘しゅ糖生産量に左右されることなどより、従来公表しております予想からの変更はありません。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

前連結会計年度末におきまして、清算手続き中でありました非連結子会社・朝日産業株式会社は平成20年6月25日に清算終了となりました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算を策定しており、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来のタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

③所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び、「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	219,446	375,252
売掛金	810,354	464,556
有価証券	645,866	305,926
商品	54,492	75,986
製品	498,488	426,146
原材料	496,412	330,535
仕掛品	129,960	155,864
繰延税金資産	87,727	67,452
預け金	2,600,000	3,200,000
その他	30,791	71,017
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	5,572,539	5,471,737
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,927,057	1,915,175
減価償却累計額	△1,162,447	△1,119,078
建物及び構築物（純額）	764,610	796,096
機械装置及び運搬具	9,022,806	8,879,033
減価償却累計額	△7,306,674	△6,995,517
機械装置及び運搬具（純額）	1,716,131	1,883,516
土地	1,151,226	1,151,226
その他	256,237	246,584
減価償却累計額	△208,037	△195,328
その他（純額）	48,199	51,255
有形固定資産合計	3,680,168	3,882,095
無形固定資産		
ソフトウェア	31,395	7,081
ソフトウェア仮勘定	94,500	—
無形固定資産合計	125,895	7,081
投資その他の資産		
投資有価証券	2,797,635	2,905,343
繰延税金資産	180,047	188,185
その他	57,486	44,156
貸倒引当金	△10,107	△9,607
投資その他の資産合計	3,025,062	3,128,077
固定資産合計	6,831,126	7,017,255
資産合計	12,403,666	12,488,992

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	232,541	200,892
未払法人税等	84,790	196,634
未払金	338,630	573,808
役員賞与引当金	16,600	22,400
その他	204,147	206,619
流動負債合計	876,709	1,200,354
固定負債		
退職給付引当金	277,253	283,483
役員退職慰労引当金	39,244	69,163
その他	500	500
固定負債合計	316,997	353,146
負債合計	1,193,707	1,553,500
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,495,000	1,495,000
資本剰余金	942,783	942,783
利益剰余金	8,548,104	8,263,124
自己株式	△14,544	△9,147
株主資本合計	10,971,342	10,691,759
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,322	11,137
評価・換算差額等合計	10,322	11,137
少数株主持分	228,293	232,595
純資産合計	11,209,959	10,935,491
負債純資産合計	12,403,666	12,488,992

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	9,272,575
売上原価	7,459,114
売上総利益	1,813,461
販売費及び一般管理費	1,234,526
営業利益	578,935
営業外収益	
受取利息	28,453
受取配当金	3,827
持分法による投資利益	47,629
子会社清算益	7,756
その他	6,748
営業外収益合計	94,415
営業外費用	
固定資産処分損	561
ゴルフ会員権評価損	500
その他	185
営業外費用合計	1,247
経常利益	672,104
税金等調整前四半期純利益	672,104
法人税、住民税及び事業税	286,272
法人税等調整額	△11,570
法人税等合計	274,702
少数株主損失(△)	△2,591
四半期純利益	399,993

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	672,104
減価償却費	385,284
ゴルフ会員権評価損	500
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,800
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,230
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△29,919
受取利息及び受取配当金	△32,281
持分法による投資損益 (△は益)	△47,629
固定資産処分損益 (△は益)	561
子会社清算損益 (△は益)	△7,756
売上債権の増減額 (△は増加)	△345,798
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△190,821
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,649
未払金の増減額 (△は減少)	△88,696
その他	△40,592
小計	294,573
利息及び配当金の受取額	33,391
法人税等の支払額	△394,180
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	60,000
有形固定資産の取得による支出	△311,821
有形固定資産の売却による収入	742
無形固定資産の取得による支出	△60,687
投資有価証券の取得による支出	△249,840
投資有価証券の売却による収入	11,756
預け金の純増減額 (△増加)	600,000
その他	△18,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,831
財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△5,396
配当金の支払額	△114,222
少数株主への配当金の支払額	△1,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121,329
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△155,714
現金及び現金同等物の期首残高	421,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	265,365

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

該当事項はありません。

〔海外売上高〕

該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	9,320,940
II 売上原価	7,429,493
売上総利益	1,891,447
III 販売費及び一般管理費	1,195,474
営業利益	695,973
IV 営業外収益	85,551
1. 受取利息	21,492
2. 受取配当金	3,799
3. 持分法による投資利益	52,512
4. その他	7,747
V 営業外費用	9,978
1. 固定資産処分損	9,402
2. その他	576
経常利益	771,545
税金等調整前四半期純利益	771,545
法人税、住民税及び事業税	291,700
法人税等調整額	14,726
少数株主利益	1,490
四半期純利益	463,629

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 税金等調整前四半期純利益	771,545
2 減価償却費	309,194
3 役員賞与引当金の増加額(△減少額)	△3,400
4 退職給付引当金の増加額(△減少額)	585
5 受取利息及び受取配当金	△25,292
6 持分法による投資利益	△52,512
7 固定資産処分損	8,825
8 売上債権の増加額	△51,598
9 たな卸資産の減少額(△増加額)	△92,123
10 その他の流動資産等の減少額	3,540
11 仕入債務の増加額(△減少額)	154,558
12 その他の流動負債の増加額(△減少額)	△9,424
小計	1,013,899
13 利息及び配当金の受取額	24,305
14 法人税等の支払額	△491,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	546,314
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 有価証券の売却による収入	410,057
2 有形固定資産の取得による支出	△172,696
3 有形固定資産の売却による収入	1,414
4 無形固定資産の取得による支出	△34,335
5 投資有価証券の取得による支出	△314,839
6 貸付けによる支出	△400,000
7 貸付金の回収による収入	380
8 その他(投資その他の資産)取得等による支出	△100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△510,118
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
1 自己株式の取得による支出	△2,771
2 配当金の支払額	△92,062
3 少数株主への配当金の支払額	△1,710
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,543

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物の減少額	△60,347
V 現金及び現金同等物の期首残高	338,212
VI 現金及び現金同等物の期末残高	277,864

(3) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

当社および連結子会社の事業は、砂糖類の製造販売ならびにこれらの付随事業であり、砂糖類関係事業の売上高、営業利益および資産の金額が全体の90%を超えているので記載は省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社および在外支店がないので該当しません。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日）

当社および連結子会社の海外売上高はないので該当しません。

## 6. その他の情報

特記すべき事項はありません。